

アリアケジャパン株式会社

第39期（平成29年3月期） 決算説明会資料

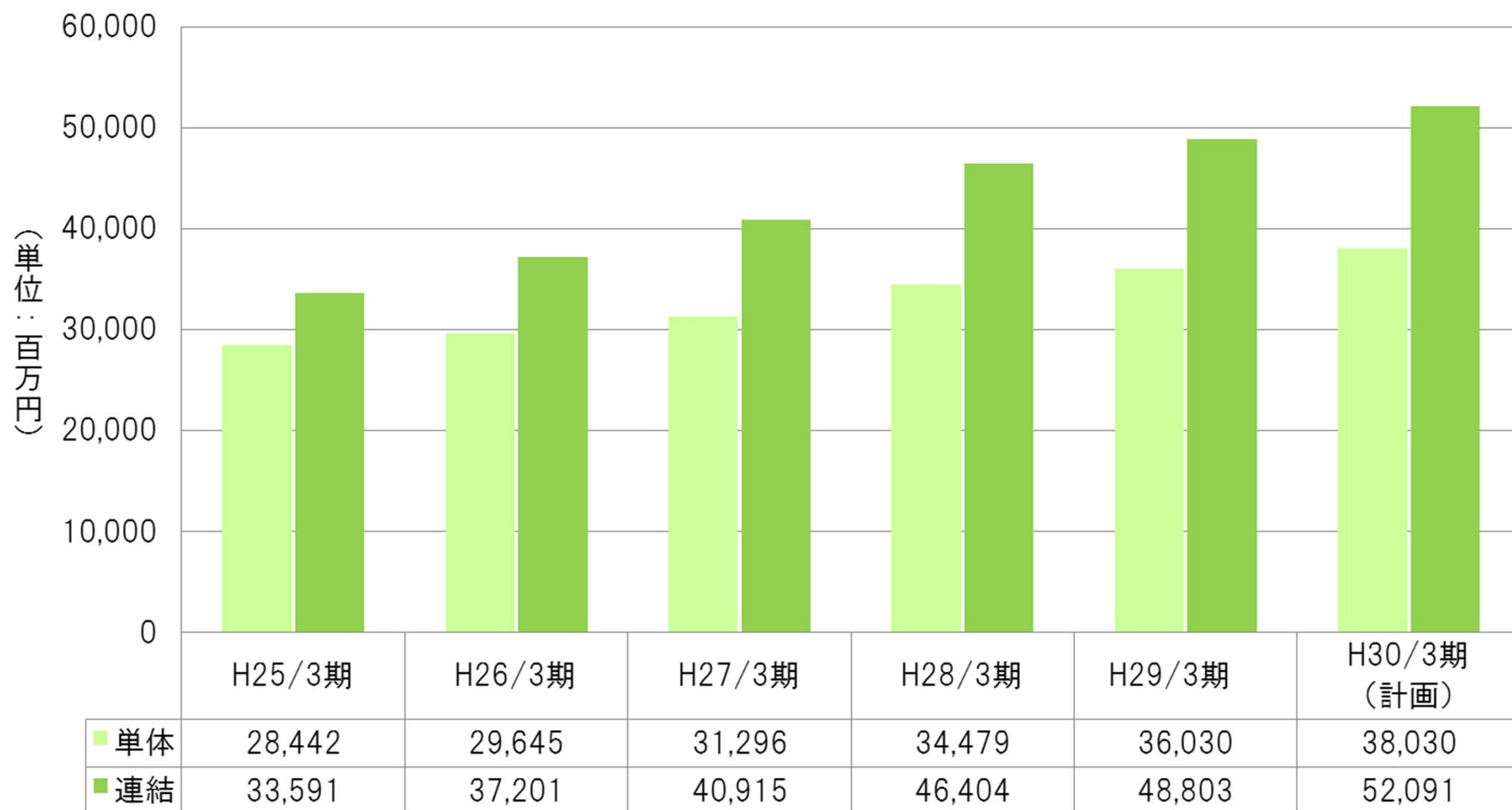


目次

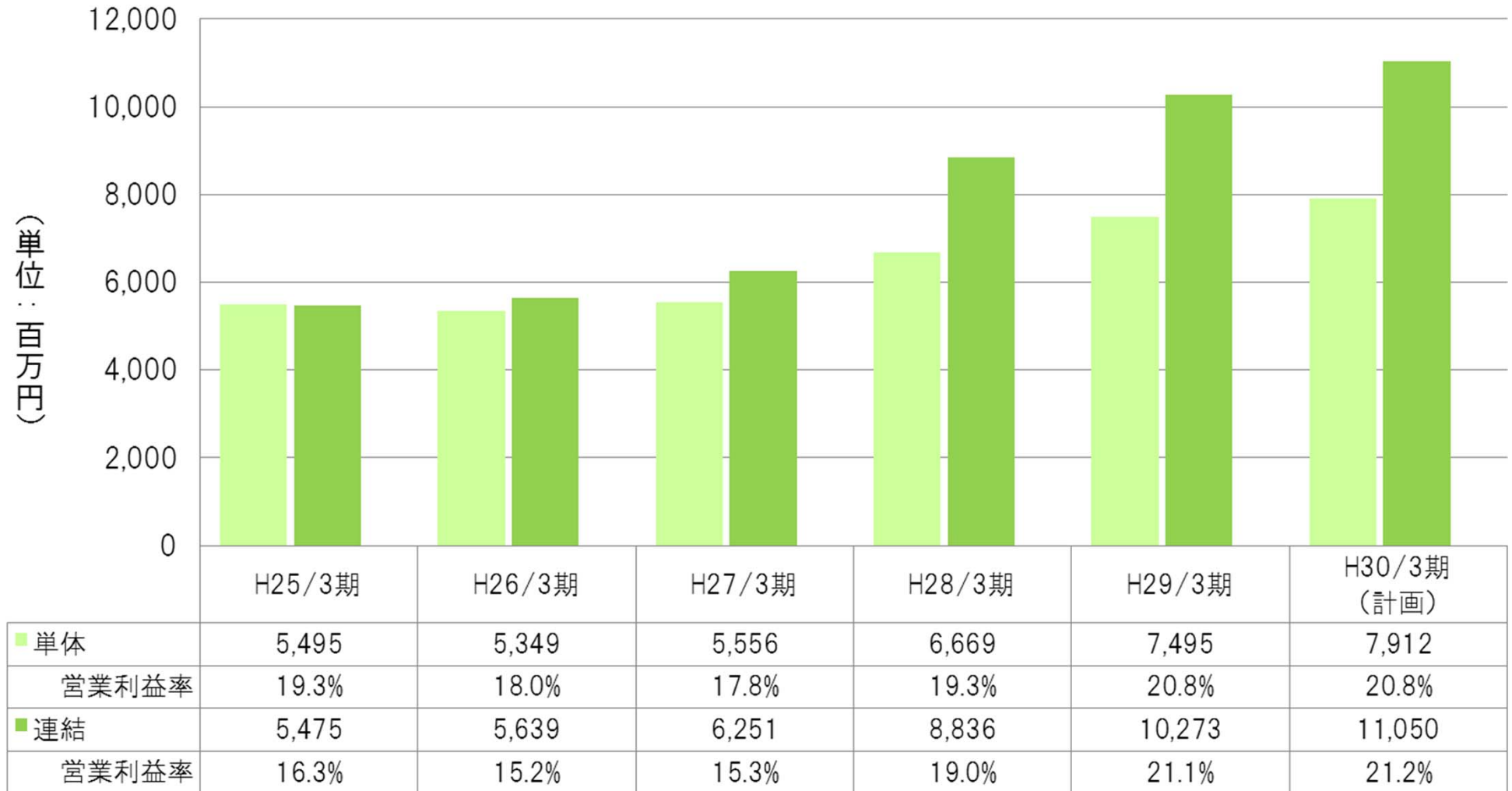
- 02. 売上高の推移（単体・連結）
- 03. 営業利益の推移（単体・連結）
- 04. 経常利益の推移（単体・連結）
- 05. 当期純利益の推移（単体・連結）
- 06. 前期比較 単体事業の概要
- 07. // （利益変動要因）
- 08. 計画比較 単体事業の概要
- 09. // （利益変動要因）
- 10. 主要子会社の概要
- 11. 地域別実績（連結）
- 12. 地域別実績・計画比較（連結）
- 13. 地域別計画（連結）
- 14. 15. 今後の事業計画
- 16. 設備投資の推移（連結・単体）
- 17. 減価償却費の推移（連結・単体）
- 18. アリアケグループ「世界8極体制」

平成29年5月12日

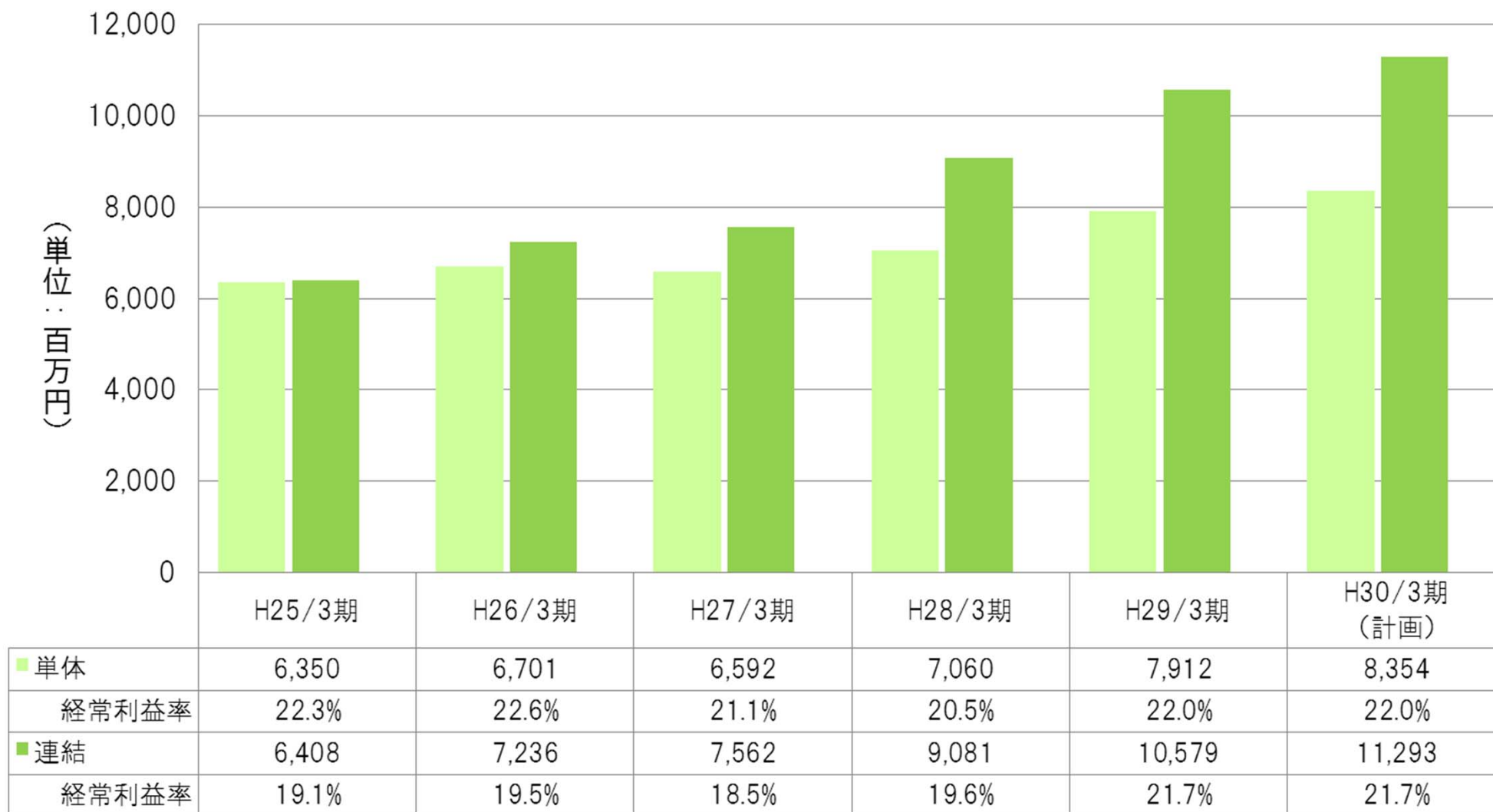
売上高の推移（単体・連結）



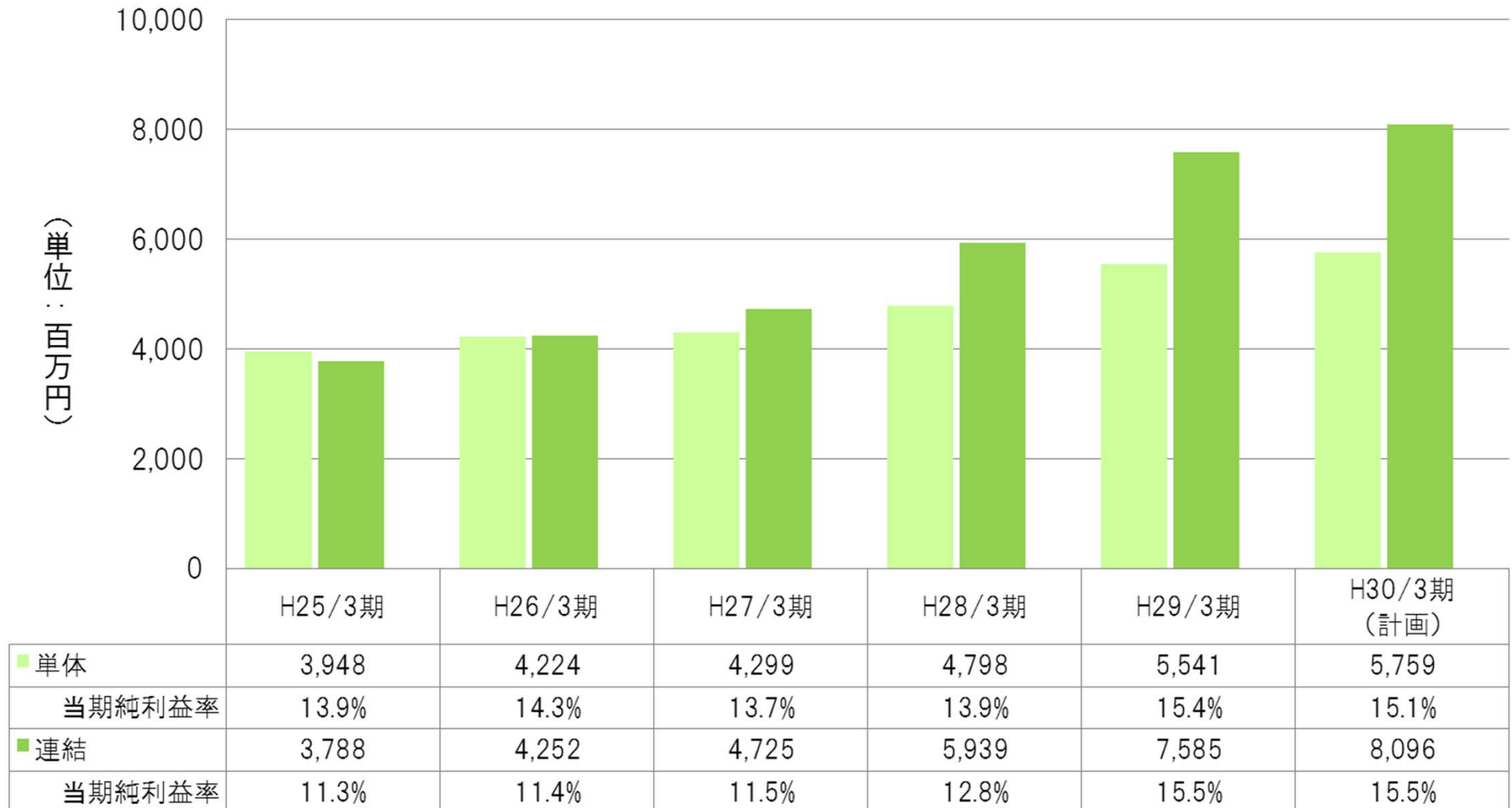
営業利益の推移（単体・連結）



経常利益の推移（単体・連結）



親会社株主に帰属する 当期純利益の推移（単体・連結）



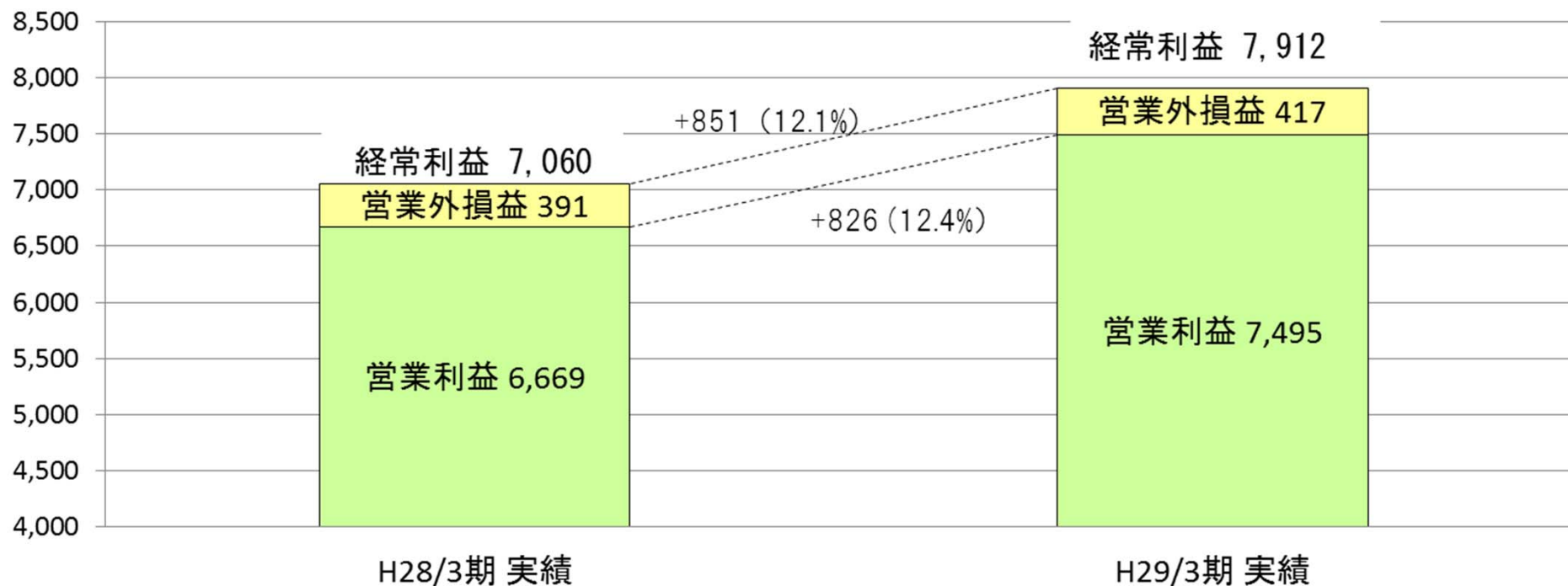
【前期比較】 単体業績の概要

■売上高

単体の売上高は36,030百万円、前年同期比1,550百万円増(4.5%増)となりました。

■利益

(単位：百万円)



【前期比較】 単体業績の概要（利益変動要因）

■ 営業利益 …前年比826百万円(12.4%)増加の7,495百万円



■ 経常利益 …前年比851百万円（12.1%）増加 (単位：百万円)

増加要因	営業利益増加		826
	デリバティブ評価損		462
	為替差益	外貨預金評価替等	95
	受取配当金等		13
減少要因	為替差損	為替ヘッジ	△508
		貸付金の評価替え	△37
合計			851

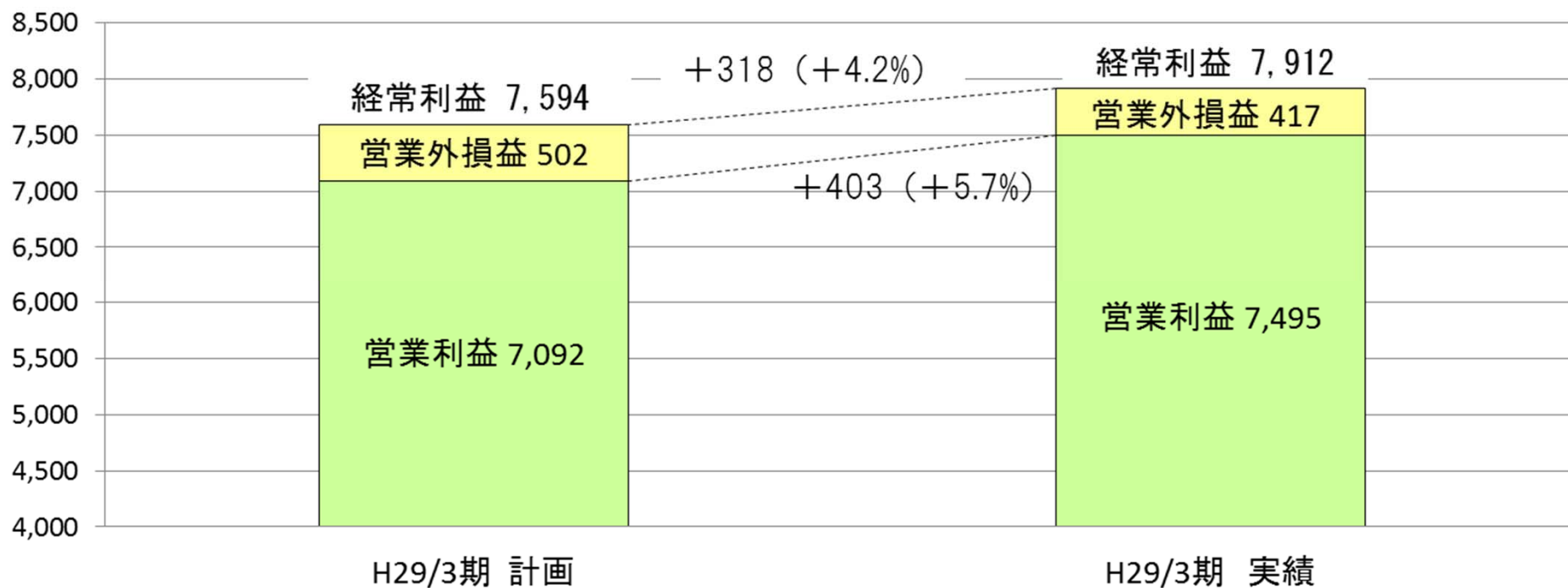
【計画比較】 単体業績の概要

■売上高

単体の売上高は計画比△449百万円の減少となりました。

■利益

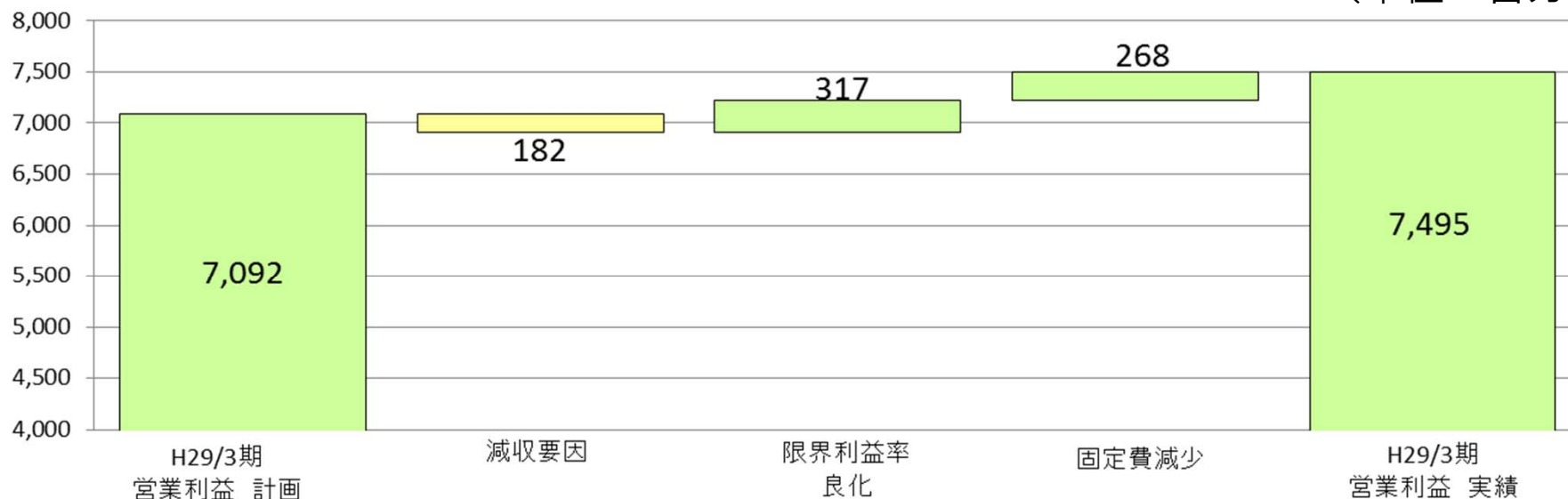
(単位：百万円)



【計画比較】 単体業績の概要（利益変動要因）

■ **営業利益** …計画比403百万円(5.7%)増加の7,495百万円

(単位：百万円)



■ **経常利益** …計画比318百万円(4.2%)増

(単位：百万円)

増加要因	営業利益増加	403
	受取配当金	38
	その他営業外収支	36
減少要因	為替差損	△150
	デリバティブ評価損	△9
合計		318

主要な子会社の概要

□ 主要子会社

(現地通貨ベース)

◆ 米 国

既存食品加工会社からの受注増が売上を牽引しました。また、外食向け販売も一部寄与しました。生産増による生産コスト減及び固定費（修繕費等）の節減も利益改善に貢献しました。

◆ アジア

中国は、既存食品加工会社及び外食向けからの受注増により増収増益となりました。

台湾は、既存外食向け受注増が売上を牽引しました。一方、新工場などに伴うコスト増にて利益は前年並みとなりました。

インドネシアは、平成29年9月工場完成予定です。

◆ 欧 州

ベルギー・フランス・オランダの3拠点連携により、欧州圏内の売上を拡販し、利益の黒字化を実現しました。

地域別実績（連結）

（単位：億円）

※子会社は連結調整後

	H29/3期 実績	H28/3期 実績	増 減		増減の内訳		
			(A-B)=C	%	為替差 (D)	実 質 (C-D)	%
売上高	488.0	464.0	24.0	5.2%	Δ 7.3	31.3	6.7%
アリアケジャパン	360.3	344.8	15.5	4.5%	0.0	15.5	4.5%
子会社 計 ※	127.7	119.3	8.5	7.1%	Δ 7.3	15.8	13.3%
米国	44.8	44.0	0.8	1.8%	Δ 1.6	2.4	5.5%
アジア	50.5	43.0	7.5	17.5%	Δ 3.5	11.1	25.8%
欧州	29.0	28.6	0.3	1.1%	Δ 2.1	2.5	8.6%
日本	3.4	3.6	Δ 0.2	-4.4%	0.0	Δ 0.2	-4.4%
営業利益	102.7	88.3	14.4	16.2%	Δ 1.5	16.1	18.2%
アリアケジャパン	75.0	66.7	8.3	12.4%	0.0	8.3	12.4%
子会社 計 ※	27.7	21.6	6.1	28.2%	Δ 1.5	7.8	35.9%
米国	11.1	9.6	1.5	15.1%	Δ 0.4	1.8	19.1%
アジア	14.2	12.2	2.1	16.9%	Δ 0.9	3.0	24.3%
欧州	2.3	Δ 0.3	2.6	—	Δ 0.2	2.8	—
日本	0.2	0.2	0.0	—	0.0	0.0	—

USD	116.5	120.6	-4.1	3.5%
EUR	122.7	131.8	-9.1	7.4%
人民元	16.8	18.4	-1.6	9.8%
台湾ドル	3.6	3.7	-0.1	2.5%

地域別 実績・計画比較（連結）

※子会社は連結調整後

（単位：億円）

	売上高					営業損益				
	H29/3期 実績(A)	H28/3期 実績(B)	差額 (A-B)	H29/3期 計画(C)	差額 (A-C)	H29/3期 実績(A)	H28/3期 実績(B)	差額 (A-B)	H29/3期 計画(C)	差額 (A-C)
アジアジャパン	360.3	344.8	15.5	364.8	△4.5	75.0	66.7	8.3	70.9	4.1
子会社計※	127.7	119.3	8.5	135.8	△8.1	27.7	21.6	6.1	25.6	2.2
米 国	44.8	44.0	0.8	46.2	△1.4	11.1	9.6	1.5	9.8	1.3
ア ジ ア	50.5	43.0	7.5	49.6	0.9	14.2	12.2	2.0	12.6	1.6
欧 州	29.0	28.6	0.4	36.2	△7.2	2.3	△0.3	2.6	3.0	△0.7
日 本	3.4	3.6	△0.2	3.8	△0.4	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0
合 計	488.0	464.0	24.0	500.6	△12.6	102.7	88.3	14.4	96.5	6.3

USD 116.5 120.6 -4.1 110.0 6.5

EUR 122.7 131.8 -9.1 125.0 -2.3

地域別当期計画（連結）

※子会社は連結調整後

（単位：億円）

	売上高			営業損益		
	平成30/3期 計画（A）	平成29/3期 実績(B)	差 額 (A-B)	平成30/3期 計画(A)	平成29/3期 実績(B)	差 額 (A-B)
アリアケシ ャハ ン	380.3	360.3	20.0	79.1	75.0	4.1
子 会 社 計 ※	140.6	127.7	12.9	31.4	27.7	3.7
米 国	50.7	44.8	5.9	12.5	11.1	1.4
ア ジ ア	57.3	50.5	6.8	14.2	14.2	0.0
欧 州	29.5	29.0	0.5	4.6	2.3	2.3
日 本	3.2	3.4	△0.2	0.1	0.2	△0.1
合 計	520.9	488.0	32.9	110.5	102.7	7.8

USD 110.0 116.5 -6.5 5.9%

EUR 120.0 122.7 -2.7 2.3%

今後の事業計画

(単位:億円)

		実 績				計 画		
		平成26/3期	平成27/3期	平成28/3期	平成29/3期	平成30/3期	平成31/3期	平成32/3期
売上高	単 体	296	313	345	360	380	400	420
	連 子 結 会 社	96	124	144	153	166	198	218
	連 結 調 整	△20	△28	△25	△25	△25	△27	△29
	連 売 結 上 高	372	409	464	488	521	572	609
営業損益	単 体	53	56	67	75	79	83	87
	連 子 結 会 社	3	7	21	28	31	39	44
	連 営 結 業 損 益	56	63	88	103	111	122	131

今後の事業計画

(売上高はいずれも連結調整前のものです)

3年後の平成32年3月期の連結売上高は600億円台、営業利益率21%+を目指します。単体（アリアケジャパン株）は毎年20億円の増収、営業利益率20%+を予想します。連結子会社は、特に海外拠点の更なる成長に向けて戦略的投資も視野に積極的な事業を展開して参ります。

□ 米 国

加工食品及び外食向けへの販売増強により、平成32年3月期の売上高は72億円を目指します。

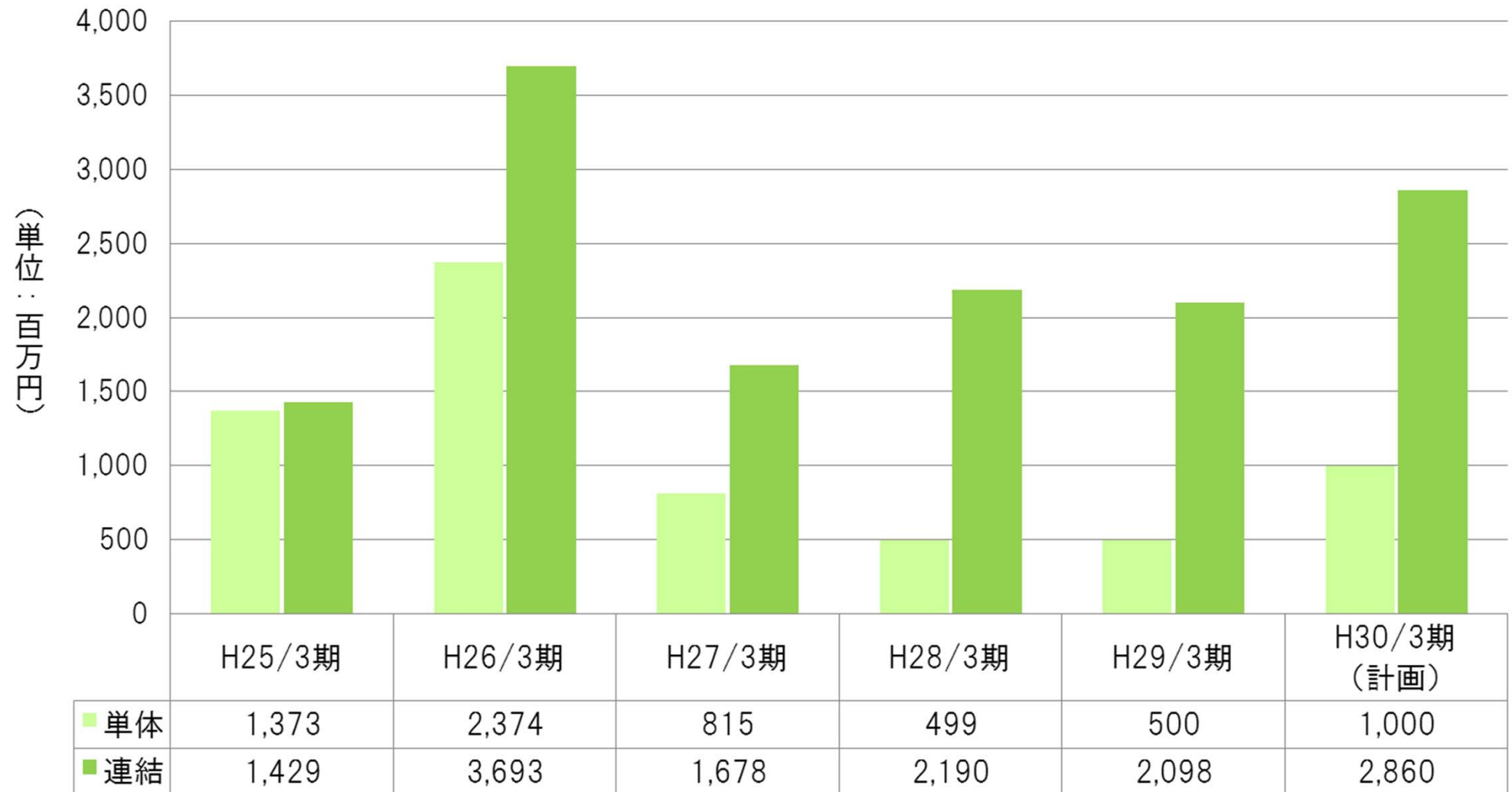
□ アジア

現地での販売強化を図り、平成32年3月期の売上高は中国54億円、台湾28億円、インドネシア5億円を目指します。

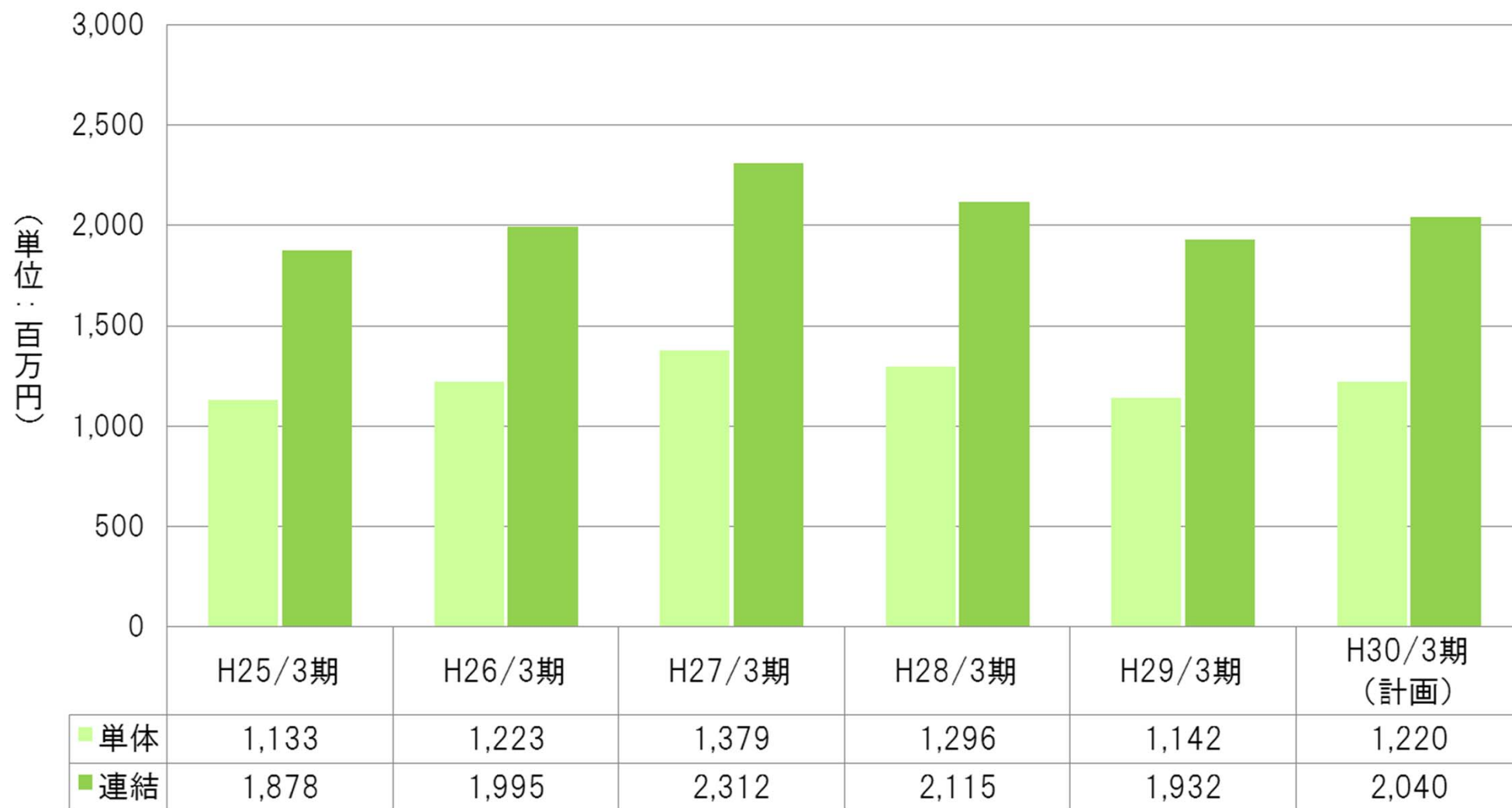
□ 欧 州

欧州圏での売上強化を加速させると同時に、日本及びインドネシアへの原料供給増を図り、平成32年3月期の売上高は48億円を目指します。

設備投資の推移（連結・単体）



減価償却費の推移（連結・単体）



アリアケグループの「世界8極体制」



本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載されている業績予想（計画）及び、将来の予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想（計画）にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績は異なる場合があります。